

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
1	基本方針	<p>県・市連携文化施設の建設には賛成だが、建設に伴い秋田市文化会館を取り壊すことについては、下記により反対する。</p> <p>現状100名規模の講演会、フォーラム等を年6回程開催しているが、昨年度の実績は第1希望：A u 2回、第2希望：アルヴェ1回、第3希望：文化会館大会議室1回、第4希望：県民会館研修室1回、上記施設が取れないのでホテル1回の開催となっている。</p> <p>出来ればA uかアルヴェで開催したいのだが、先約があり文化会館、県民会館、ホテルでの開催を余議なくされている状況にある。</p> <p>新施設に100名規模の会議開催が可能な施設が設置されるのか不明だが、現状でも会場探しに四苦八苦しているので、ぜひ文化会館は存続させ、小規模な文化活動の場を残して頂きたい。</p>	<p>講演や講義、集会、式典、展示など、一定規模の収容力があれば対応可能なものは、秋田市にぎわい交流館やアルヴェの多目的ホールに加え、各エリアの市民サービスセンターの活用を促進するなど、既存の文化施設と一定の役割分担を図りながら、利用者のニーズに対応してまいりたいと考えております。</p>
2	基本方針	<p>統合整備については、賛意を表す。</p>	<p>県と市が共同で整備することで、施設の魅力も高まり、行財政改革の点でも有用であると考えております。</p>
3	基本方針	<p>市文化会館の大ホールの座席数のホールがなくなると、2,000人集客できないアーティストが来てくれなくなるので、現状のとおり2施設あった方が良い。</p>	<p>800人を超える集客が見込まれるコンサートについては高機能型ホールでの開催に加え、県内他市の1,000人以上集客できるホールの活用を想定しております。</p>
4	基本方針	<p>県民会館、市文化会館の利用者全てを新施設と他の小規模施設ではカバーできないと思われるので、県民会館は県が単独で整備し、市文化会館は市が維持管理すべきである。</p> <p>市文化会館はまだ34年しか経過しておらず、耐震補強、設備更新を行い、20年程度は利用できるのではないかと。</p>	<p>これまでの利用実績からみると、県民会館大ホールは高機能型ホール、市文化会館大ホールは舞台芸術型ホール、小ホールは舞台芸術型ホールとリハーサル室で代替可能と考えております。</p> <p>市文化会館は、大規模改修する場合、改修工事に数十億円を要するほか、年間数億円の維持費が必要になるなど、多額の経費を要することから、県・市連携による施設整備が有益で有用性も高いと判断したものです。</p>
5	基本方針	<p>県民会館について、近年、公共建築は築50年ではまだ建替しないと考える。舞台面積や楽屋の不足は大規模改修で解消できないのか。市文化会館の築34年での建替は早いと思う。設備更新、耐震・音響の改修で問題の解消はできないのか。</p>	<p>県民会館と同時期の昭和30年代に整備された文化施設は、全国にそれほど残っていないのが実状です。県民会館は老朽化もさることながら、舞台が狭小であるなど設備が陳腐化しており、また、市文化会館も大規模改修するとすれば、耐震工事などを含め多額の改修費用を要することから、二つの施設の機能を合わせ持つ施設を共同で整備する方が有益で有用性も高いと判断したものです。</p>

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
6	基本方針	市文化会館は、年間利用者が11万人とのこと。縣市連携では混雑して大変と思う。それぞれ現在地に施設を置くことが良い。	県民会館はいずれ近い将来の建替が必要であり、市文化会館も今後30年程度使用するためには数十億円規模の改修費用が必要と見込まれております。人口減少下でこれまでと同様の行政サービスを維持していくことも難しくなっていくことを想定すると、今、県と市が一体型施設を整備することは文化振興の観点でも行財政改革という点でもメリットが大きいと考えております。二つのホールを同時に使用する場合もあり、一定程度の混雑は予想されますが、施設全体の収容能力が三千人規模であることを考えると、それほど大きな混乱は生じないものと考えております。
7	基本方針	市文化会館は、建築から40年弱である。現在の施設を補修して活用して欲しい。	県・市連携文化施設は、現在の県民会館、市文化会館の機能を継承しつつ、再編整備するものです。市文化会館を今後30年程度使用するためには、数十億円の改修経費を要すると試算されることから、新しい施設を整備する方が有益で有用性も高いと考えております。
8	基本方針	縣市が共同で施設整備することについては、建設資金の面からも今後は同様の手法が主流になるだろう。	県・市が共同で整備する意義として、整備費の縮減に加え、施設の利活用の範囲も広がり、文化振興という点でも、交流人口の拡大という点でも高い効果を期待できると考えております。
9	施設計画	旧県立美術館は昭和の遺産として活用し、新しい文化施設は震度7強に耐えうるものとし、平成の遺産として全国に誇れる建造物にして欲しい。	十分な耐震構造となるよう配慮してまいります。
10	施設計画	多くても300席程度の客席の劇場を設けていただきたいと考える。体育館の隅で卓球を行うような空間では小劇団の演劇を楽しんで頂けないと思う。そして演劇、音楽やダンスを観客と共に楽しむためには、閉ざされた舞台空間、充実した照明・音響施設が必要ですので、御検討をお願いします。イメージとしては、文化会館の小ホールで、客席数はもう少し少なくとも舞台空間の広い施設を望む。	リハーサル室には、照明設備等を備え、小規模な演劇にも対応できるようにしていきます。また、舞台芸術型ホールについても、1階席のみを利用することで、500席程度の小ホールとしても利用できるようにしたいと考えております。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
11	施設計画	高機能型ホールには、「奈落及び演出用迫りは設けない」となっているが、備品等の保管場所としても活用できるため、設置を検討して欲しい。	高機能型ホールの「奈落と迫り」の必要性については、来年度、整備計画策定の際に再度検討することとします。（整備方針の記述は削除します。）なお、舞台と同じレベルに舞台倉庫を配置し、備品類は収納したいと考えておりますが、これについても来年度、具体的な検討を行います。
12	施設計画	舞台芸術型ホールには音響反射板は設置せず、舞台芸術専用ホールとして整備して欲しい。	舞台芸術型ホールの音響反射板の設置については、来年度策定する整備計画のなかで、検討してまいります。
13	施設計画	市文化会館の小ホールと同規模の舞台設備や客席数として使用したい場合の対応として、舞台芸術型ホールの客席の1階部分のみで使用できるようにして欲しい。その場合の使用料は現在の市文化会館の小ホール程度にして欲しい。	舞台芸術型ホールの2階席を間仕切りし、1階席だけで利用できるようにし、小ホール的な活用も可能にしたいと考えております。また、利用者にとって無理のない料金体系について検討してまいります。
14	施設計画	リハーサル室の天井をスノコ型にして照明スポットを取り付けることができるようにし、舞台の広さや位置・客席の数等を自由にレイアウトすることができる小ホールとして整備して欲しい。 リハーサル室の名称を「小ホール兼リハーサル室」、又はリハーサル室にも使える「小ホール」として欲しい。	リハーサル室には、照明設備などを整備し、小規模な演劇利用にも対応できるようにしてまいります。
15	施設計画	県民会館の2階席の後ろの方は良く見えないし、音も聞きづらいので、ホールの形状を仙台サンプラザホールのような円形にできないか。3階からでもよく見え、また、アーティストからも「小さい武道館」と評判が良いと聞いている。	高機能型ホールは、音楽を中心に様々な演目に対応できるホールを想定していますが、音響、視認性に配慮した構造にしたいと考えております。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
16	施設計画	<p>施設の客席規模、各ホール建設コンセプトについては、「整備方針（案）」のサイズについては妥当と考える。秋田市と同じ規模の人口のオーストリア、ザルツブルク市にあり、国際的な音楽祭が開催されるホールはオペラ、オーケストラ演奏の両方での音響に高評価であるが、大劇場と小劇場の客席数は新施設のそれとほぼ同数である。問題点としては、ホールの規模に比べて、舞台の広さ、舞台裏、袖のスペースはより広めにとることが必要と考える。楽屋の数も十分すぎるくらいの数を確保して公演には丁度良いという経験から舞台本体と舞台周りに関しては、より慎重に整備計画を進めていただきたい。貸館としての魅力を国内外に発信し、「リピート率」と「また来たいとアーティストやスタッフが切望するホール」は表裏一体である。全世界が「秋田のホールで公演を」と秋田に集まるような音響と魅力を兼ね備えた世界に誇るものをつくる必要があるのではないだろうか？国内外のプロ、アマチュア音楽家が目標とする会場を。舞台面積のみならず、舞台袖、舞台裏のスペース。オーケストラピットの広さ、舞台間口と奥行き確保、十分な高さは図面理論上だけでなく、実際に現場を知るものとの共同作業で、全世界が注目する施設ができることを願っている。</p>	<p>これまで、劇場の構造に精通した専門家や各種コンサートを企画するプロモーター等から意見を聴取し、整備方針（案）として取りまとめたところであり、来年度、さらに施設の詳細を明らかにする整備計画を策定することとしております。その際にも劇場公演の現場に精通した関係者等と意見交換しながら取りまとめてまいります。</p>
17	施設計画	<p>当施設が 建設予定地に完成すれば広小路側から見られる機会が最も多くなる。広小路から千秋公園の方を眺めると、一番大きくて目につく建物は国学館高校の校舎である。</p> <p>よって同校舎に施設の外観を合わせる。具体的には、建物の高さおよび南側の外壁の南北方向の位置を揃え、壁面デザインに類似性を持たせれば、安定感のある景観が最大限引き出せるのではないかと危惧している。</p> <p>逆にどの建物とも違った大きさやデザインでは、ちぐはぐな印象を受ける。</p> <p>また、周辺には御隅櫓や旧県立美術館といったシンボリックな建造物が既にある。それらに加えて当施設に主張の強い外観を持たせると、各建造物の注目度および求心力が低下するのではないかと危惧している。</p> <p>さらに県・市連携文化施設全体でも建物の高さや壁面を揃え、デザインを同一あるいは類似のものとするべきだと考えます。高機能型ホールと舞台芸術型ホールは規模が違うが、配置を工夫して大きさを合わせて欲しい。</p> <p>ご存知と思うが、久保田藩の初代藩主である佐竹義宣は、他藩の者に見られても恥ずかしくないよう城下町の景観に配慮し、羽州街道に面した建物を二階建てにさせ、家並みの出を揃えさせるなど統一感のある町を作らせていた。1930年代に日本を訪れたドイツ人建築家ブルーノ・タウトは秋田の町を「北の京都」と評している。</p> <p>佐竹義宣の志を引き継ぎ、統一感のある街を作るためにも、これから新築される公的施設は、近隣の施設に高さ、壁面およびデザインを合わせることによって「ビルの高さと外観は街並みによっておおむね決定される」という文化を発信していくことを望む。</p>	<p>施設の整備が具体的になった際には、建物の高さやデザインなど、千秋公園等の景観に配慮した施設にしてまいります。</p>

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
18	施設計画	県内外を視野に入れての会議、コンサート等も大事だが、地域住民が利用できる施設を考えることも大事だと思う。	県民、市民が気軽に集える施設を目指してまいります。
19	施設計画	少子高齢化が進む中、このような大規模施設を整備し、運営していくには大分無理があるのではないかと。全国的にも運営に行き詰まっている例が多いと聞いている。	県・市連携による整備は、行財政改革の観点から県市それぞれが建設し、運営するよりも、効果的、効率的であると判断したものであり、県と秋田市がそれぞれ別に整備するよりも、運営費も縮減できると見込んでおります。
20	施設計画	県人口が60～70万人と想定されるなかで、3,000人規模の施設は本当に必要なのだろうか。大ホール1,800人、小ホール600人程度で良いのではないかと。	2,000席、800席というホールの規模は、興行主や文化団体などの意見を踏まえ、最適な規模と考えており、県と秋田市が共同設置することについても、文化振興の観点や行財政改革の観点からも有益で有用性も高いと考えております。
21	施設計画	エリアなかの県立美術館は、入口が内側にあって分かりづらいし、コンクリート壁だけの面があり、周囲と隔絶した無機質で冷たい印象を受ける。新文化施設は、建物単独の見栄えではなく、周囲と調和した多くの人が親しみを持てるデザインにしてほしい。	千秋公園の景観、周辺施設との調和に配慮した施設としてまいります。
22	施設計画	エントランスロビーに雨天時に入場者が待機できる広さを確保することだが、現・県民会館におけるコンサート時に中土橋を経て広小路まで入場待ちの行列ができたのを見たことがある。晩秋だったので並んでいる人が気の毒であり、少々通行の邪魔でもあった。寒冷地・積雪地であることも踏まえ、入場者が快適に待機でき、近隣へ影響を及ぼさないよう配慮してほしい。	現状はご指摘のとおりですので、新施設では、エントランスロビーの広さを確保し、室内で開演を待てるような施設としてまいります。
23	施設計画	音楽鑑賞が好きで、若い頃は、県民会館に月に1回以上は足を運んでいた。今でも年に数回利用しているが、音響の悪さが気になっている。先日も観劇に行ってきたが、役者の発する台詞にノイズが混じり耳障りでした。そろそろ建替の時期に来ていると思う。	県民会館の音響に関しては、同様の意見を多くいただいておりますので、新施設は音響効果の優れた施設としてまいります。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
24	施設計画	<p>3,000人規模のコンベンション=先日、テレビNHKあきたで、漫画家の倉田氏と壇蜜さんをゲストに、秋田県を元氣するには如何したらよいかという番組を放送していたが、住民（市民）の力を活用すべきと言うのが50%近く、他の項目を抑え断然トップだった。3~4,000人のコンベンションを、市民の力をどのように活用するか、考えるときが来ていると思う。今東京では、旅行客の増加でホテルや旅館が足りず、空き家を宿泊に利用するニュースが流れていた。逆に、秋田は人口減少で空き家が増える傾向にあり、この先、そのような物件の活用も必要かと思う。いずれにせよコンベンションは秋田を活性化させることは間違いないと思うので、施設を整備して大いに誘致することを望みたい。そして、若者がはつらつと活躍するような秋田県になるように切望する。</p>	<p>大規模な集客ができる文化施設を市街地に整備することで、交流人口の拡大を図るという点が、この施設の役割の一つと考えております。施設の整備後は、関係機関と連携し、全国から多くのお客様を迎えられるよう、コンベンションの誘致にも努めてまいります。</p>
25	施設計画	<p>青森県弘前市ではモダニズム建築の前川國男氏による弘前城三の丸にある弘前市博物館やお堀端にある市役所が公園と一体化して風景に溶け込んでいる。新たな文化施設の地にはかつてルネサンス様式の県記念館が建ち、千秋公園の風景に溶け込んでいた。現在も、旧県立美術館や谷口吉生氏のモダニズム建築の代表作である明德館の建築が建ち落ち着いた雰囲気醸し出している。新たな文化施設では、中土橋を渡り、千秋公園へのアプローチとして前記の施設などと調和あるデザインを希望する。</p>	<p>周辺施設と調和した施設の配置やデザインとなるよう配慮してまいります。</p>
26	施設計画	<p>安藤忠雄氏の新秋田県立美術館の水庭から、千秋公園の緑のなかに旧秋田県立美術館の風景を楽しむことができる。現在の県民会館の地には藩政期には家老・渋江内膳邸がありました。その奥、久保田城の本丸・霊水台にはシンボルともいえる「御出し書院」（座敷櫓・天守の代わり）があり、佐竹義宣公や義重公がそこに上り城下を眺めたと言われている。（現在は県民会館により見えなくなっている）「明治初年の穴門橋とお出し書院」の古写真に往時の姿をしのぶことができる。現在、千秋公園の再整備計画では、資料などの不足から歴史的建造物の復元・整備が難しい状況となっている。いつの日か、復元資料が発見され復元されることを、願ってやまない。現在の県民会館は、その景色を塞ぐ形で建っている。新たな文化施設の建設においてはその高さを抑え、いつの日か復元されるかもしれない「お出し書院」を新県立美術館から眺められるよう（また逆からも）、修景にご配慮願う。</p>	<p>千秋公園の景観に配慮した施設にしてまいります。</p>
27	施設計画	<p>候補地の敷地面積約13,000 m²に概算延床面積約22,500 m²の施設を建設できるのか。ホールは複層化が構造上困難である。また、この種の施設はアプローチや広場などの十分な外構が必要ではないか。</p>	<p>建設候補地における施設配置案については、来年度整備計画のなかで検討してまいります。整備が具体化した際には、来場者が立ち寄りやすい、アプローチや施設の外構となるよう、十分に配慮してまいります。</p>

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
28	施設計画	ホールもさることながら、秋田県に必要なものは、本格的な大規模なコンベンション施設であり、現計画では各種イベントの対応が可能とは理解しがたい。間仕切り可能な多目的スペースとはホワイエ・ロビーを対象としているのか。学会等に限定されるのではないか。現計画ならば、ホワイエ・ロビーに大きなスペースを割くべきである。	この施設で想定しているコンベンションは、大規模会議・大会であり、産業製品などの展示を伴う大規模な博覧会や見本市などまでは想定しておりませんが、会議等に関連した展示も可能な設備も併せて整備することとしております。
29	施設計画	機材搬入等のバックヤード、楽屋は同一階が望ましいが、大小ホールの配置は可能か。	県民会館所在地に整備方針（案）でお示しした2つのホールを中心とした施設を整備することができると考えており、来年度策定する整備計画の中で、施設配置案についてもお示ししたいと考えております。バックヤードについては、文化団体、興行主からも同様のご意見をいただいております、十分に配慮してまいります。
30	施設計画	文化創造機能にあるミュージカルの創作や「伝統」と「現代」の融合による新たな文化創造に賛成。	多くの文化団体に創作活動の場として活用していただけるような施設を目指してまいります。
31	施設計画	ジョイナスの小ホールのような演劇の公演ができるようなホールを作るなら、照明の回路を増やして欲しい。	リハーサル室には、照明設備などを整備し、小規模な演劇利用にも対応できるようにしてまいります。
32	施設計画	練習室については、リハーサル室との違いを明確にするともっと良いと思う。	練習室は少人数の使用に、リハーサル室は大人数での練習に加え、小ホールとして演劇などの公演等の使用を想定しております。
33	施設計画	ホールにエレベーターを設置して欲しい。	高齢者や障がい者も利用しやすい施設とするため、エレベーターを設置してまいります。
34	施設計画	施設の入口に本日の催物などを表示する電光掲示板があると良い。	来場者にとって視認性の高い案内表示を検討してまいります。
35	施設計画	エレベーターも設置して欲しい。	高齢者や障がい者も利用しやすい施設とするため、エレベーターを設置してまいります。
36	施設計画	初めて行った際にトイレの位置が分かりづらかったので、分かりやすい案内をするか、分かりやすい配置にして欲しい。	施設の整備が具体化された際には、新施設は、来場者に分かりやすい配置や案内表示してまいります。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
37	施設計画	高機能型ホールの客席数について、もう少し大きなコンサートができるようにして欲しい。	2,000席というホールの規模は、興行主や文化団体などの意見を踏まえた上で、様々な公演事業に対応できる汎用性の高い規模としたものであり、最適な規模と考えております。
38	施設計画	高機能型ホール並びに舞台芸術ホールには、オーケストラピットを設け、奈落を設置しない方針と整備方針案に記載されている。オケピ設置に伴い取り外した座席を収納するスペースを考慮願う。現県民会館のように通路に座席を置くことは避けて欲しい。	具体的には設計の段階で検討することになりますが、現時点では、客席下に収納することを考えております。なお、「奈落と迫り」の必要性については、来年度、整備計画策定の際に再度検討することとしております。
39	施設計画	10頁の最後に「楽屋を含め各諸室が利用されていない時は、県民・市民が他の用途にも利用できる柔軟な運用を図る」とあるが、音漏れの問題もあり容易に運用を図れるものではないと思う。現に、市文化会館の小ホールを使用中は、振動・音が伝搬する問題のため直上階の講堂が使用できないなど、現場では様々な問題を抱えている。目的外使用は大きなリスクが伴うのは周知の事実、失礼ながら、机上の想定で「絵に描いた餅」ではないか。	楽屋等を会議室のように利用する事例は、他県の文化施設にもあり、文化活動の多くが必ずしも完全防音でなければいけないというものではないことから、例えば文化団体の打ち合わせに利用するなど、柔軟な運営ができるものになりたいと考えております。
40	施設計画	これまでの公演で、客席の一部を利用して（客席数が減少する。）照明・音響調整卓を設置しているケースがあった。整備方針案には技術諸室を適所に適切な規模配置すると記載されているので、新施設では調整卓により客席が減少する事態は避けられるのか。	主催者が臨場感をつかむため、あるいは特別な機械が必要だという場合を除いて、客席を利用しなくても対応ができる施設にしたいと考えております。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
41	施設計画	<p>「施設整備方針」にはプロセニウム高に関する記載がない。現県民会館のプロセニウム高は僅かに8mしかなく、音響的に劣る原因と言われている。最近作られているホールのプロセニウム高は、由利本荘市文化交流館カダーレ 12.96m、酒田希望ホール 12.6m、岩城芸術文化交流館アリオス 15m、アクトシティ浜松 14.4m、愛知県芸術劇場 12m、滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 15.5m等々、いわゆる高さを確保し、結果として音響的にも優れた設計となっている。高機能型ホールについては、少なくともプロセニウム高 15m以上を確保すべきである。県都のホールのプロセニウム高が、カダーレ以下では県内外のお客様・出演者等から疑問が続出するのではないか。</p> <p>ご承知のように「多目的ホール」には、いわゆる吊り物を格納するためのスペースが必要で、ステージの真上にはステージと同サイズ以上の空間が存在する。プロセニウム高を15mとするため、常識的には上部に高さ18m程度のスペースが必要であり、プロセニウム高15mと合わせて33mの高さが必要となる。さらに附属施設を立体的に配置するとなれば、相当な高さが必要となり県民会館跡地に建設可能か危惧している。千秋公園の南に位置するだけに、日照等への配慮を考えるとプロセニウム高が十分ではなくなるのが危惧される。高さに関する考え方・対応を示してほしい。</p> <p>プロセニウム高は、ホール設計の基本中の基本であり、一旦、建物のサイズが決まってしまうとプロセニウム高は制限される。今後の計画では建物のレイアウト・高さも明示され、その後の変更は困難であることから、プロセニウム高15m以上を念頭に計画を進めていただきたい。</p>	<p>ご意見のようなプロセニウム高が理想的であります。その高さが絶対必要な公演が数多く実演されることは現実的ではないと考えております。具体的な高さについて、今後検討してまいります。オペラのような演目でもプロセニウムの高さに合わせてセット高を変えると、専門家から聞いており、整備費用も考えながら現実的な構造としてまいります。</p>
42	施設計画	<p>新施設に十分な数の練習室・会議室、さらには隣接駐車場設置が困難であれば、数年先に閉店するであろう某デパートを文化施設に付属する練習室・会議室としてはどうか。</p>	<p>ご意見にあった施設は、現に運営していることから、現時点では、そのようなことは想定しておりません。</p>
43	施設計画	<p>県民会館跡地に新文化施設を作ることになった場合、高層化しない限り多くの練習室・会議室を併設するのは困難と推察する。代替案として周辺の私立高校やデパートの将来を見据え、付属の練習場として活用することを検討しては如何か。</p> <p>その結果、駐車場問題は解決し、旧美術館と合わせて、14頁に記載したような「文化芸術ゾーン」が形成され、魅力ある街づくりにも資するのではないか。将来を見据えた県・市の考え方をお示し願いたい。</p>	<p>ご意見にあった施設は、現に運営していることから、現時点では、そのようなことは想定しておりません。</p>

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
44	施設計画	<p>文化関係者の日常の練習においては、移動に苦勞する様々な道具を使用することがある。演奏団体の例では、ティンパニー等の打楽器類である。多くの公共施設においては、このような道具を置くことを一般的には認めていない。</p> <p>一方、島根県立芸術文化センターのように、会館所属楽団を保有している施設も存在し、ティンパニーやハープなど的高額な楽器を施設の管理下に置いて便宜を図っている。同様な方法で文化活動を支援している施設も全国に存在する。保管場所を確保するだけでランニングコストも不要であり、秋田の文化活動支援のために新施設においては、目的に添う保管場所の設置をお願いしたい。</p>	<p>ピアノなど必要な楽器は整備することになりますので、ご意見にあった楽器の保有や保管場所の設置の必要性についても、今後検討してまいります。</p>
45	施設計画	<p>毎週のように市文化会館やジョイナスの練習室・会議室を利用している団体は、相当数になる。団体数や活動状況を把握し、全ての団体が新施設を利用できるのか明らかにし、以上の練習室等利用者の意見を整備方針に反映させる仕組みを加えていただきたい。</p> <p>一般論として、練習なくして舞台での「秋田の文化力を高め、文化の力で地域を元気にしていく」ことは困難である。しかしながら、第3頁の3つの役割と想定される展開例や、第5頁の基本的考え方に示す5つの機能には、練習室に関する記述が認められない。第10頁、文化創造機能【取組の方向】には、練習室を複数設置すると記載されているが、十分な練習室・会議室を設置できるか懸念される書きぶりとなっている。市文化会館並びにジョイナスの練習室・会議室の存在が、文化活動に大きく貢献していることを認識していただきたい。</p> <p>さらに、第5頁の基本的考え方には、「県・市連携文化施設は、秋田県民会館及び秋田市文化会館が果たしてきた役割を継承しながら、」という記述があり、両施設が練習場所の提供を担っていた実態を把握して、練習室が減少しないようにすべきと思う。</p> <p>したがって、整備方針案 第5頁の基本的な考え方(1)～(5)に続いて、(6)として練習場機能を書き加えることを提案します。</p>	<p>文化団体の練習の場としては、既存の文化施設と一定の役割分担を図りながら、利用者のニーズに対応してまいりますと考えており、また、秋田市文化会館内の練習室など公民館的な機能は、秋田市の新庁舎内にも整備されることになっております。秋田市内の各エリアの市民サービスセンターなどの機能も考えると、新施設の整備後は、練習などの日常的な文化活動の場は、現状よりも増えると思われまます。そうした状況を踏まえ、練習室の規模や数は、来年度の整備計画の中で明らかにしてまいります。</p>
46	施設計画	<p>施設計画の基本的な考え方について、概ね賛成だが、健康長寿のため、荒天時でもウォーキングができるような屋内型遊歩道（ウォーキング回廊）を新施設に整備して欲しい。</p>	<p>この施設は、基本的には音楽や舞踊などの実演芸術の創造、鑑賞の場であり、健康維持やスポーツを目的とするものではないことから、屋内型遊歩道の整備は想定しておりませんが、施設整備が具体的になった際には、特に目的がなく来館した人も憩える施設としてまいります。</p>

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
47	施設計画	アトリオンもよく利用しており、演奏者から音響効果が素晴らしいと聞いている。県民会館も是非2千人～3千人規模のいいものを作って欲しい。	アトリオンは、小編成のオーケストラや室内楽などのクラシック音楽の専用ホールという位置付けであり、県・市連携文化施設の高機能型ホールは多目的であるものの、音響効果の高いホールを目指しており、できるだけ多くの利用者の要望に応えられるものにしてまいりたいと考えております。
48	施設計画	お金をかけて新しい土地を買って作らないで、ホールにお金をかけて欲しい。盛岡にはクラシックバレエも来ていて、なぜ秋田に来ないのか、悔しい。交響楽団も音響や狭さのせいで最近はめったに県民会館に来ないので、東京に行っている。	ご意見のような観点から、県が現在所有している県民会館所在地を建設候補地とし、舞台や設備機能の充実した二つのホールを中心とする文化施設を整備することで、秋田でも質の高い公演に触れられるようにしたいと考えております。
49	施設計画	文化会館は、ステージが狭く、オペラを見に行ったときは演者の汗や唾が飛んで来ていて気の毒だった。	舞台サイズは、整備方針（案）に示しており、実現に向けて検討してまいります。
50	施設計画	新施設には会議室を設けたり、明德館の図書館機能を移設し、機能の集約化を図り、明德館跡地は更地にして欲しい。図書館は、中高生もよく利用する施設なので、地下を利用したタワー式駐輪場を設置し、景観に配慮した建物にする必要がある。	現在の秋田市立中央図書館明德館の機能を移転することは考えておりませんが、外観については、ご意見のとおりですので、整備が具体的になった際には配慮してまいります。
51	施設計画	建物は、機能を重視しながらもアートを取り入れて欲しい。	整備が具体的になった際には、そのようなことについても検討してまいります。
52	施設計画	全国的な催し物情報が分かるセンターを設置して欲しい。	全国的な催しものについては、インターネットや各種情報誌が普及しており、特段この施設での情報提供は考えておりませんが、県内の文化施設の催事情報を提供することは、この施設の役割になるものと考えております。
53	施設計画	座席間隔はゆったりと、聞きにくい席がないように設計して欲しい。	整備が具体的になった際には、そのように配慮してまいります。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
54	施設計画	大ホール（1,000席）は固定席、中ホール（700席）と小ホール（100席未満）は可動席が良い。	文化団体や興行主など様々な方々から意見を聴取し、高機能型ホールは2,000席、舞台芸術型ホールは800席の固定席としたところであり、小ホール的な機能を備えたリハーサル室は、フラットな構造ながら、椅子を配置することで200人程度を収容できるようにしたいと考えております。
55	施設計画	託児施設を設置すること、女性用トイレを多く設置すること、障がい者でも鑑賞しやすい施設にして欲しい。	整備が具体的になった際には、そのように配慮してまいります。
56	施設計画	山王中学校吹奏楽部の演奏会に行ったことがあるが、舞台が非常に狭く感じたので、新施設の舞台は大きくして欲しい。	現在の県民会館の舞台サイズは横19m、奥行き11mですが、新たな文化施設の高機能型ホールの舞台サイズは横18m、奥行き18mを想定しており、奥行きを確保する分、広く感じていただけるものになると考えております。
57	施設計画	2,000席と800席の2つのホールを県市が共同で整備するとなっていたが、別々に整備し、県民会館の建替分として1,800席だけを整備すれば十分だと思う。	2,000席というホールの規模は、興行主や文化団体などの意見を踏まえ、最適な規模と考えております。県と秋田市が共同設置することについても、文化振興の観点や行財政改革の観点から有益で有用性も高いと考えております。
58	建設候補地	自分も高齢になり、運転ができなくなるので、車で行かなければならない場所では困る。文化会館は駅から遠く、観たいと思っても行くことを諦めている。報道では県民会館の場所には反対という意見が多いように思うが、電車でも行きやすい県民会館の場所にして欲しい。	県民との意見交換会でも同様の意見が多く出されており、そうした意見を踏まえ、現県民会館所在地を建設候補地としたところであります。
59	建設候補地	新施設が現在地への建設がほぼ決定し、旧県立美術館を残されたことに敬意と感謝をする。この2施設とお堀との景観が全国から来られる方々に強く印象づけられると思う。	県民会館所在地は秋田駅に近く、周辺に連携できる文化施設が立地しており、文化振興の観点でも、秋田市のまちづくりという点でも適した場所と考えております。旧県立美術館については、市が利活用を検討することとしており、県・市連携文化施設整備が具体化した際には、県内外の来場者に施設整備後の景観を評価していただけるよう努めてまいります。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
60	建設候補地	<p>建設候補地として挙げられている現行ジョイナス・県民会館の地は、将来において、往年の「秋田県記念館」「秋田県公会堂」を復元すべき用地として確保すべきであり、新文化施設の立地場所は他所に求めるべきである。新文化施設の候補地として県・市の行政当局が立案している当該地に着目すれば、この場所には明治期建設の公会堂と大正期建設の記念館が千秋公園を背景に壮麗な姿を見せていた場所であり、この2棟の建築物は我が町の後世へ伝えるべき遺産の一つとして、必ずや将来いずれの日にか復元すべきものとする。したがって、この場所に半永久的な新文化施設が建設されれば、2棟復元は不可能となることは確実であるので、候補地の他所選定を訴える。また、当該施設を当該建設候補場所に建設することにより、いかなる賑わいがいかに生まれるのか、具体的に内容が判然とは理解できない。何かの催物時に参集者がたくさん通行往来しているということと、賑わいが創出されているということは別個の事柄だと考える。</p>	<p>現時点では、かつてあった「秋田県記念館」や「秋田県公会堂」を復元するという考えはなく、県・市連携文化施設がこれらを継承する新たな施設と認識しております。</p> <p>現状の利用状況とみると、県民会館大ホールが年間約18万人、市文化会館大ホールが年間約9万人となっております。この県・市連携文化施設は二つの施設を再編整備した施設となることから、推計すると年間30万人弱の来場者を見込める施設となるものと考えております。文化の鑑賞時にショッピングや飲食を楽しみたいという意見も多く寄せられており、秋田市中心市街地に集客力のある文化施設があれば、にぎわい創出の効果は大きいと考えております。</p>
61	建設候補地	<p>インター近くという話しもあるようだが、地方から来る私にとってはコンサートの他に買い物も楽しみなので、それはやめて欲しい。</p>	<p>公共交通機関でのアクセスが容易で、ショッピングも同時に楽しめる場所にあること、気軽に立ち寄れる場所にあることなども県民会館所在地を建設候補地とした理由としてあげられます。</p>
62	建設候補地	<p>建設場所は、県民会館が良いのですが、もっと前に話しがあれば、アルヴェの場所が良かったと思う。盛岡市文化ホールは、盛岡駅直結の施設で、駐車場も多く、施設建設により周辺の開発も進んだ場所であった。</p>	<p>県民会館所在地は秋田駅に近く、周辺に連携できる文化施設が立地しており、文化振興の観点でも、秋田市のまちづくりという点でも適した場所と考えております。</p>
63	建設候補地	<p>「整備方針（案）」にあるように、現県民会館に新施設を建設する計画については、中心市街地に建設するデメリットである、駐車場の確保（出演者用及び施設来場者用）と建設までの利用施設不足の懸念について考慮の必要があると考えるが、県立美術館と一体での「文化芸術ゾーン」を創出する観点からも、立地の環境からも、理想的であるとする。県民会館周辺の「ジョイナス」「旧・平野政吉美術館」も有効に利用しながら、市民文化活動のためのスペースを十分に確保する必要があると考える。施設完成までの会場不足は重大な問題ではあるが、国内外に発信力と魅力のあるランドマークを建設する必要性を看過することはできないと考えるし、その点で都市との共存を実現するモデルケースとするべきである。国内の新文化施設が郊外型へ移行する中で、「秋田モデル」を内外に示すことは文化県としての秋田県の存在価値を高めるものとする。</p>	<p>ご指摘のとおり、県民会館所在地に建設するにあたっては、駐車場の確保など、いくつかの課題がありますが、それ以上に他の文化施設との連携や文化芸術ゾーンの形成による魅力あるまちづくりが可能となるなどメリットが大きいと考え、建設候補地に選定したところであり、整備が具体的になった場合には、景観にマッチした外観となるよう努めてまいります。</p>
64	建設候補地	<p>県民会館の場所は、環境も良く、文化の香りがするので良いと思うが、3,000人規模の集会のアクセスとしてはもう少し検討の余地があると思う。</p>	<p>来年度以降、駐車場の検討とあわせて、路線バスの運行方法など、アクセスについても検討してまいります。</p>

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
65	建設候補地	建設候補地に郊外との案もあるようだが、今後は少子化と高齢化が進む中で利便性が良い現在地が最良と考える。	ご意見のとおり、公共交通機関でのアクセスの良い現県民会館所在地を建設候補地としたところであります。
66	建設候補地	県民会館跡地かどうかは別として、郊外よりは秋田市中心部に建設するべきである。県庁所在地の中心部には、一定規模のコンサートやコンベンション会場が必要だと思う。現在の2施設は学校行事や若者が来場するコンサート等にも使われているが、それが郊外へ移転すれば、車を使えない若者の利用機会を奪ってしまうことになる。 一例として、県立武道館では「県外から来て観光もしたかったのに、宿と武道館の往復だけで終わってしまった」「近くにコンビニもなく不便」というイベント参加者の声を聞いたことがある。県外からイベント等に参加する人のためにも、駅や宿泊施設に近い市街地が良い。	ご意見にもあるように、交通アクセスの利便性やバンケット機能をもつ宿泊施設が周辺にあることも県民会館所在地を建設候補地とした大きな理由であります。
67	建設候補地	建設候補地としてJR 秋田駅東口（現駐車場）を提案します。以下はその理由である。 ① 敷地面積が、概算延床面積に対して十分広く、今後長く使える施設が無理なく建設できる。アプローチや広場などの外構も敷地内駐車場も確保できる。 ② JR 秋田駅、バスターミナル、タクシー乗り場も近く、歩行者は、ぼぽろ一ど、ウイロード経由でも敷地内にアクセスできる。 ③ 既存施設との連携が良く、アルヴェ（秋田市民交流プラザ、複合施設）、NHK、宿泊施設（メトロポリタン秋田、東横イン）、商業施設（トピコ、アルス、フォーラス、フォンテ、西武）、アゴラ広場へも降雨降雪時であっても徒歩で移動可能である。 ④ 建設中も県民会館が使用可能である。 ⑤ 公共交通機関利用を促進し、脱車社会、秋田駅東口エリアの発展にも寄与する。 ※参考に秋田駅東口（現駐車場）に建設する場合のゾーニング図を次頁に添付する。	ご意見の場所は公共交通のアクセスの面で優れておりますが、民間所有地であり、取得費が必要になるほか、他の文化施設との連携や文化芸術ゾーンの形成による魅力あるまちづくりも考慮し、千秋公園、県立美術館に近い現県民会館敷地が、より相応しいと考えたところであります。
68	建設候補地	現県民会館は、第1種低層住居専用地域（総合公園）から現在の住居地域に変更されたが、本来、旧県立美術館と同様、風致地区の規制をすべき場所であるから、高さ制限等の何らかの規制が必要と考える。	建物の高さも含め、千秋公園の景観に配慮した施設にしていまいます。
69	建設候補地	一つの建物の中に大ホール、中ホール、多くの付属施設を格納するためには、敷地面積に加え十分な高さを確保する必要がある。将来の50年を考え、高さ確保が困難な立地であれば、新たな建設場所を模索すべきではないか。	ご指摘のとおり、県・市連携文化施設は、現状の県民会館の21mを超える高さとなるのは確実であります。敷地の利用方法を検討しながら、周辺環境に配慮した形で整備できるようにしていまいます。来年度策定予定の整備計画の中で施設の配置案についてもお示しいとと考えております。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
70	建設候補地	駐車場に関する懸念が払拭できないようであれば、県民会館跡地への文化施設建設は賛同できない。急がずに民意を汲みあげ、最適な場所を選定したうえで着工すべき、急いで仕事を仕損じると考える。県民が待ち望むのは、将来ともに県民に誇れる文化施設を含む文化ゾーンであろう。	県民会館は築後54年を経過し、早期建替が望まれる状態となっており、現県民会館所在地は、様々な条件に合致し、建設候補地として相応しい場所と考えております。
71	建設候補地	平成26年3月にまとめた「新たな文化施設に関する整備構想」第5章 立地環境には、「なお、県民会館、市文化会館は、いずれも現地での建て替えは長期間施設の利用ができないなど、デメリットが大きいことから困難と考えている。」という記載がある。事務方や有識者が作り上げた「整備構想」で困難と考えたのに、どのようにデメリットを回避したのか、その過程も含め、考え方・対応をお示しいただきたい。	整備構想策定時には、現地建替は困難と考えておりましたが、県民や文化団体等と意見交換を行う中で、市街地の便利な場所への整備を要望する声が多いこと、法規制の問題についてもクリアできる手法があることから、県民会館所在地を候補地としたところです。4年間、大規模ホールが使用できなくなることについては、「秋田市文化会館利活用調整会議(仮称)」を設け、秋田市文化会館の利用調整を図るほか、他市の文化会館も利用することで対応していきたいと考えており、文化団体等からも一定の理解を得ております。
72	建設候補地	日中はほぼ女性と高齢者が利用者である。交通の便の良い市街地に建てて欲しい。県北や県南の人も来やすいところが良い。人口は減っているけれど負けないで良いものを便利な所に建てて欲しい。	現県民会館所在地が、ご意見にお応えできるような場所と考え、建設候補地としたところであります。
73	建設候補地	文化会館の稼働率が低いのは、交通の便が悪く、夜は周辺が真っ暗で、私のような高齢者には使いづらいからではないか。県民会館の場所は夜でも周辺が明るく、駅に近いので、仕事帰りの若い人も行きやすいし、夜でもバスや電車で帰れるので、寒くなくて良いと思う。	ご意見のような点からも、県民会館所在地が建設候補地として相応しいと考えており、施設の整備が具体的になった際には、アクセス道路の安全性などにも配慮してまいります。
74	建設候補地	中土橋を渡ったら千秋公園であり、公園内に県民会館等があること自体が景観を損ねており、耐用年数を経過した建物は順次、お堀の外に移転して欲しい。旧県立美術館は、保存を必要とする人達のところに移築し、公園本来の機能を回復させることが望ましい。	県民との意見交換会では、本県の歴史と文化の象徴である千秋公園にこそ、本県の文化のシンボルとなる建物を建設するのが相応しいとの意見もありました。県、市ともに「文化芸術ゾーン」の形成により一帯の魅力を高めたいと考えており、整備が具体的になった場合には、建物の外観が背景の千秋公園とマッチするように配慮してまいります。
75	建設候補地	建設場所は、JR秋田駅の近くが良い。	公共交通機関の拠点である秋田駅に近い場所で、秋田市のまちづくりという観点から現県民会館所在地を建設候補地としたものです。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
76	建設候補地	障がい者でバスを利用しているため、新施設は県民会館と同じ場所にして欲しい。	公共交通機関でのアクセスが良いということも県民会館所在地を建設候補地とした理由であり、障がいのある方も利用しやすい施設としてまいります。
77	建設候補地	建設場所について、郊外という声もあるようだが、人口減少、高齢化を考えれば、駅に近く、交通の便が良い現在の県民会館の場所に建てるべきだ。	ご意見のような観点から、現県民会館所在地を建設候補地としたものであります。
78	建設候補地	秋田駅前の活性化も重要だが、50年先を考え、中央インター付近へ大型無料駐車場を備えた施設にしたらどうか。50年前に県庁を山王に移転させたような大英断を期待する。	文化振興の観点や人口減少社会を見据えた秋田市のまちづくりの方向性を考慮し、郊外に整備するよりも現県民会館所在地が適していると考えます。
79	駐車場	新施設は、現県民会館とジョイナスの一体的な建物となれば、6階建てくらいになり、景観からぎりぎりの高さと思われる。地下に駐車場を整備することで、借用駐車場が少なく済むと思う。	来年度策定する整備計画の中で、施設配置案についてもお示ししたいと考えており、ご意見にあるような方策など、駐車場の確保について明らかにしてまいります。
80	駐車場	小さな劇団はそれぞれ自家用車に小道具や衣装やライトを積み込んで集まり、稽古や本番のたびにホールに運び込んで活動している。このため、敷地内に駐車場があることを望む。気軽に発表できる場を求めているので検討をお願いする。	ホールが利用されておらず、主催者用の駐車場が空いている場合には、練習室利用者も利用が可能と考えております。
81	駐車場	青森市文化会館の駐車場は地下にあり、有料だが、便利である。	現県民会館所在地に施設を整備した場合には、同じ敷地内に大規模な駐車スペースを確保するのは困難と考えておりますが、来年度策定する整備計画の中で駐車場の確保策について明らかにしてまいります。
82	駐車場	若い人、元気な人なら良いが、大町の駐車場は遠い。駅前ににぎわいが無いのは、駐車場の問題で、ちょっと時間をオーバーすると駐車料金が高くなるからである。	来年度策定する整備計画の中で、民間駐車場との連携等、駐車場の確保について明らかにしてまいります。
83	駐車場	駐車場について、旧県立美術館を取り壊し、そのイメージで建設した立体駐車場と、中通り駐車場を利用したら良いと思う。	来年度策定する整備計画の中で、民間駐車場との連携等、駐車場の確保について明らかにしてまいります。
84	駐車場	かつては賑わっていた秋田ニューシティ跡地が単なる駐車場になるのは惜しいし、新施設でイベント等が開催されない日は無用の場所になってしまう。例えば、立体駐車場構造として、その一部をテナント店舗や休憩スペースとし、駐車場利用者のみならず近隣住民・買い物客が日常的に利用できる施設にしてはどうか。施設本体だけでなく駐車場も「魅力あるまちづくり」に貢献できると思う。	秋田ニューシティ跡地を駐車場として活用できることになった際には、ご意見も参考にし、運営方法を考えてまいります。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
85	駐車場	<p>駐車場は、秋田駅東口周辺や県立衛生看護学院跡地等への設置も検討してはどうか。現・県民会館では、催し終了前後に送迎車が集中し、下の公道上（歩道をふさぐ場合もある）で待機したり、中土橋付近が渋滞したりする場合があります、交通事故や緊急時の混乱等が危惧される。</p> <p>駐車場計画があるニューシティ跡地は、バス路線や歩道のない道路に囲まれ、横断歩行者の信号待ちスペースも狭い。現在地以上に周囲への影響がありそうで不安である。コンサート等の前後には、一度に多くの歩行者と車両が現地を通行することになる。施設・駐車場とも、どこに造るにしても、周囲の交通安全には充分配慮してほしい。</p>	<p>秋田ニューシティ跡地に関しては、これまでもイベント時に駐車場として活用されております。駐車場については、分散した方が渋滞緩和につながると考えられることから、来年度策定する整備計画の中で、民間駐車場との連携等、駐車場の確保について明らかにしてまいります。</p>
86	駐車場	<p>大町、中通りの駐車場では遠く不便です。この種の公共施設は大型バスでの直接のアクセスを確保し、ある程度の専用駐車場を敷地内に確保すべきである。</p>	<p>大型バスの乗降に配慮した施設計画にしますが、敷地内への駐車スペースの確保については、来年度策定する整備計画の中で検討してまいります。</p>
87	駐車場	<p>建設予定地は歴史公園に含まれ、秋田藩家老の居住地跡でもあるため、その石垣をすべて撤去し、市道にフラットな形で整備することは困難と考えられる。その高低差は現施設において急勾配の坂道となっており、利用者の通行(特に高齢者の昇降)に身体的負担を強いている。そこで、石垣のある外観はそのままに、その高低差を活用し、有料地下駐車場として整備し、前面市道と同じ高さに福祉用出入口を取付けてはどうか。</p> <p>地下駐車場の用途としては、主に、音楽コンサート等催事の際の資材搬入用のトレーラー(複数台、現在は野外駐車場)、大型観光バスの収容、福祉車両とする。中心市街地には、大型観光バスが駐車できる箇所がほぼ無いため、現状は、中土橋へ違法駐車し、周辺観光しているツアーが散見される。地下駐車場が整備することで周辺の商業活性化(空店舗解消)なども期待できる。</p>	<p>来年度策定する整備計画の中で、施設配置案についてもお示ししたいと考えており、ご意見にあるような方策を採用できるかどうかについても検討してまいります。</p>
88	駐車場	<p>〔整備構想〕第17頁には、「(参考)「秋田市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」では、施設規模に応じた専用駐車場の整備が義務づけられており、文化施設の場合には床面積150㎡あたり1台の駐車場の設置が必要とされている。」と努力目標が記されている。</p> <p>秋田市条例に基づく努力目標と、「整備方針案」における専用駐車場駐車可能台数の双方を、数字で県民に公開しては如何か。</p>	<p>県民会館所在地は、「秋田市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」の対象区域外になり、駐車場の設置義務はありませんが、できるだけ、多くの駐車スペースを確保したいと考えております。</p>

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
89	駐車場	<p>意見交換会で「大きなイベントのことを考えれば、駐車場は重要だが、これからさらに高齢化が進めば、車を運転できない人が多くなるので、秋田駅から近い場所が良いのではないか」という意見があった。しかし、現状では車を運転できなくなった高齢者よりも、自分で運転できるか他車に同乗できる高齢者が圧倒的に多く、将来も自家用車中心の傾向は変わらないと推察する。</p> <p>一方、現状は平日に比べ土日のバス運行本数が少なく、市内の交通は不便である。特に演劇やコンサートが終演する9時過ぎには帰路のバスは極端に少ない。帰りの時間が集中するためにバスが満員となって乗車できない事態も懸念される。以上を鑑みると、公共交通機関の利用を前提とした計画では、新施設利用を躊躇する方々も多いと推察される。計画担当者は意見を承るだけでなく、土日並びに終演後の時間における交通実態についても把握して計画していただきたい。</p>	<p>秋田市の中心市街地内には約4千台分の時間貸し駐車場がありますので、既存駐車場の利活用も含め、駐車場確保や公共交通機関の利便性向上についても検討いたします。</p>
90	駐車場	<p>意見交換会で「実際の利用は秋田市民が中心となるため、秋田市の意見に引っ張られ、県南、県北から行きにくい施設になるのではないかと懸念される。」という意見があった。県内は、列車本数が少なく、戻りのダイヤはもっと少ない。今後ともにJR等公共交通機関よりも自家用車が便利であり、多くの来場者は車を利用するものと推察される。</p> <p>検討している駐車場は県南・県北の利用者にとって好都合な場所なのか、市外から車で訪れて駐車困難で、駐車場を探し回る事態にはならないのか。</p>	<p>駐車場については、現県民会館も同様な状況にあると考えますが、秋田市以外にお住まいの方でも市街地への整備が望ましいという意見が多く、県民会館所在地が建設候補地として相応しいものと考えております。</p> <p>来年度策定する整備計画の中で、民間駐車場との連携等、駐車場の確保についても明らかにしてまいります。</p>
91	駐車場	<p>整備方針案14頁には、「秋田市中通1丁目自動車駐車場（507台）と合わせると、利用者の相当程度をカバーできると見込まれる。」という記載がある。しかしながら、アトリオン音楽ホールやなかいちでのイベントと競合すると駐車困難となる。一例であるが、昨年9月20日に県民会館を利用した際は、同駐車場はほぼ満車であった。競合によって、本来のなかいち利用者までも迷惑を被ると推察するが、それ程までに駐車場の確保は困難なのか。</p>	<p>秋田市の中心市街地内には約4千台分の時間貸し駐車場がありますので、来年度策定する整備計画の中で、民間駐車場との連携等、駐車場の確保についても明らかにしてまいります。</p>
92	駐車場	<p>無料の駐車場は他目的の車を排除できず、施設利用者が確実に駐車できる保証がない。むしろ有料として、確実に車が駐められる隣接の立体駐車場併設を希望する。具体的に「施設整備方針」に明記できないものか。</p>	<p>来年度策定する整備計画の中で、ご意見にあるような方策も含め、駐車場の確保についても明らかにしてまいります。</p>

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
93	駐車場	整備方針で駐車場の候補となっている秋田ニューシティ跡地は、過去に文化施設の建設候補地となったことがあり、付近の「交通渋滞」が避けられないことから警察が反対したと伝聞した。文化施設に替えて駐車場にしたところで交通渋滞が解消されるとは考えられず、出入り時間が集中して、取付道路に交通渋滞が生ずる懸念を抱いている。どのような対策をするのか示してほしい。	秋田ニューシティ跡地については、現状でも、イベント時の駐車場として活用しております。中心市街地内の百台規模以上の駐車場については、現在もイベント時に、ある程度の混雑が発生しており、隣接道路の状況や交通量を考えるとやむを得ないものであります。そのため、県・市連携文化施設の利用者が周辺の既存駐車場を分散して利用していただくことが理想と考えており、そのような駐車場確保について、今後検討してまいります。
94	駐車場	隣接駐車場として、県民会館西側にある某高校に移転を要請し、用地を活用するなどの大胆な発想が必要ではないか。	ご意見にあった施設は、現に運営していることから、この件に関するコメントは差し控えさせていただきます。
95	駐車場	新施設に練習室が併設されるとして、一部の利用者は手ぶらではなく、楽器等何らかの道具を搬入しなければならず、隣接駐車場は欠かせない存在である。特に、雨・雪・強風時に遠い駐車場では困る。整備方針には、「敷地内に出演者及び障がい者用の駐車スペースを確保するとともに、」とあるが、練習室利用者は隣接駐車場を使用できるのか。	ホールが利用されておらず、主催者用の駐車場が空いている場合には、練習室利用者も利用が可能と考えております。
96	駐車場	駐車場が大町では遠いと新聞に意見が載っていたが、遠くないと思う。好きな人であれば、大町でも利用するし、他の駐車場を利用しても500円位なら安いものだ。今までも、駐車場は足りなくて民間の駐車場を利用しており、どうしても高いというなら、駐車場の割引券を出すなどすればいいと思う。	来年度策定する整備計画の中で、民間駐車場との連携等、駐車場の確保についても明らかにしてまいります。
97	駐車場	高齢者の安全に配慮した駐車場を確保して欲しい。	駐車場の確保は重要であり、できるだけ近隣に一定規模の駐車スペースを確保できるように努めてまいります。
98	駐車場	文化会館跡地は、路線バスを利用したツアーバス等の駐車場にした方が良いと思う。	市文化会館を解体した場合の跡地利用については、今後の検討となりますが、ご意見を参考とさせていただきます。
99	駐車場	穴門の堀を埋め立て、駐車場を作り、藤倉ダム、添川から清流を引き入れ、子ども達が水浴できるようにしてもらいたい。	千秋公園周辺の景観に配慮した形での整備が必要と考えており、現時点では穴門の堀を埋めて駐車スペースを確保することは考えておりません。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
100	駐車場	現在の駅前の市営駐車場などは不便であり、平場で利用できる秋田ニューシティ跡地にすることは大いに賛成である。	来年度策定する整備計画の中で、民間駐車場との連携等、駐車場の確保についても明らかにしてまいります。
101	駐車場	現在の県民会館の敷地が高台になっているので、地下に駐車場を整備することも検討したらどうか。	来年度策定する整備計画の中で、施設配置案についてもお示ししたいと考えており、駐車場の確保策についても明らかにしてまいります。
102	駐車場	秋田市内は、文化施設に限らず、スポーツ施設も駐車場が不十分で、行く度に駐車場探しに難儀しているため、新文化施設には大型無料駐車場を備えるべきである。	一定規模の駐車スペースが必要と考えており、来年度策定する整備計画の中で、駐車場の確保についても明らかにしてまいります。
103	駐車場	県民会館で開催された老人クラブ全県大会に市の福祉バスで行ったが、駐車場が狭く、大会終了後、乗車まで1時間も待たされた。新施設には大型バスがゆっくり停められる大型駐車場を整備して欲しい。	現県民会館所在地に施設を整備した場合には、同じ敷地内に全ての大型バス用の駐車スペースを確保するのは困難ではありますが、駐車スペースを適当な場所に確保していきたいと考えております。
104	概算事業費	現在の建替整備案の支出は、秋田県将来の人口動態、文化創造に十分対応するものかどうか、判定は難しい。	現時点の200億円という概算事業費は、多額ではありますが、本県の文化振興を考えると新たな文化施設は必要と考えます。県・市が連携し、国の補助金活用など、実質的な県民・市民の負担を可能な限り少なくするように努めてまいります。
105	概算事業費	県・市共同で提案している計画案にはあらかじめ賛成であり、今回の事業費200億のうち建物工事が180億と推計されているが、耐用年数は何年か心配である。これからの公の建物は100年の大計に立つことが大事と思う。秋田県は、全国一の人口減少県と予想されている。3～40年で建て替えなければいけない様な安普請では後世の為にならないと思う。修復に耐えられるような頑丈な本体が必要と思う。その良い例が赤レンガ郷土館である。一世紀の風雪に耐え尚、見事な景観である。県内外の旅行客がカメラに写しているのを、この目で何度も何度も見ている。今回の方針案15ページ、当該規模の施設を整備する場合・参考1・参考2・どちらも数十億掛かり増しするとのこと、今回の共同事業で浮いた分を、将来の為・安全の為に利用されることを一考願う。	県・市が連携して整備することは、行財政改革の点でも有用であり、こうした考えのもと、県都の顔、文化の香る施設とし、県民が誇りに思える施設を目指してまいります。
106	運営管理	運営管理計画を策定する段階で、芸術監督の設置と、定期的な改修工事（メンテナンス）計画も合わせて検討して欲しい。	芸術監督の設置の必要性、メンテナンス経費については、運営管理計画の中で検討してまいります。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
107	運営管理	行政、文化団体双方による創造的集客機会拡大と経営学導入による利用手数料収入を検討すべきと考える。	文化施設の運営に精通した者に、この施設の運営を委ね、ランニングコストに係る県と市の持ち出しができるだけ少なくなるようにしてまいります。
108	運営管理	17頁に「また、ハードの整備と併せ、ソフトの取組にも着手する必要がある、文化団体関係者の声を基本設計に反映させていく仕組みをつくりながら、開館後の運営管理の基本となる「運営管理計画」を策定する」と記載しているが、既成の文化団体は、邦舞・邦楽・華道・書道・文芸・民謡・民俗芸能等々、いわゆる和物分野が大勢を占めている。一般的に和物分野は大規模な芸術文化施設との関連は少ないと思われる。 一方、文化団体に所属しないで市文化会館や県民会館を利用している団体が多数で、和物分野の利用回数を遙かに上回っているのが現状と認識している。事実、県民会館は文化団体に所属しない学校吹奏楽、社会人吹奏楽団の利用が頻繁である。したがって、前述した文化団体に所属しない団体の声を「運営管理計画」に反映させていく仕組みが、必要不可欠と考えられる。国民文化祭で把握した各種団体・連盟に関する情報を有効活用していただければ幸いである。	これまでも学校吹奏楽や社会人吹奏楽団を傘下におく県吹奏楽連盟や、合唱連盟、演劇団体連盟の関係者等からも意見を伺いながら、整備構想、基本計画、整備方針（案）を取りまとめてきておりますが、今後も、なるべく多くの団体から意見を聴取して事業を進めてまいります。
109	運営管理	福島県のいわき芸術文化交流館では、「基本コンセプト」や「運営理念」をホームページ上に公開している。「この施設の役割はどうあるべきか？」について、市民の皆さんと積み重ねた検討の経過を踏まえて定められたようである。（以上ホームページより） 秋田の新文化施設でも同様なコンセプトや運営理念が必要と思うので、検討いただきたい。	この施設の基本コンセプトについては、整備構想、基本計画でも示しており、整備方針（2頁）でも「基本目標と役割」として示しております。整備が具体化した際に取りまとめることとしている運営管理計画の中で、この基本コンセプトをより具体にした運営上のコンセプトについて検討してまいります。
110	運営管理	全国のホールには、実力ある芸術家を監督に任命し、自主的な事業を展開している施設もある。また、専属の楽団や合唱団を抱えている施設もある。（整備構想参照） そういった展開を、本県で直ちに実施するのは困難と推察するが、新施設ではどの範囲まで想定しているのか、考え方・対応を示してほしい。	来年度整備計画を策定し事業が承認された後で、設計と並行し運営管理計画を定めることとしており、芸術監督の必要性などについてもその際に検討してまいります。
111	運営管理	施設運営を自治体職員が行う場合、県職員と市職員の混成で行うのか。現県民会館においては、ジョイナス事務所と県民会館事務所に分かれていて利用者が混乱するケースがある。市文化会館においても会館職員とサンパル職員が、1階と4階の事務所に別れていて利用者が戸惑っている。同様な混乱を回避するために、利用者本位な運営組織を事前に検討してはどうか。	県と市が同じ事業者運営を委ねる指定管理制度を想定しており、整備方針に明記いたします。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
112	運営管理	意見交換会では「ハード整備ばかり先行しているが、どのようなソフト事業を行うかも検討するべきである。」といった意見があったが、ソフトは事業ばかりではなく、どういった組織で運営するか、いわゆる運営形態も含んでいると解釈される。広い意味でのソフトに関し、ハード着手以前に詳細に検討すべきではないか。	指定管理による施設の運営を想定しておりますが、来年度整備計画を策定し事業が承認された後で、設計と並行し運営管理計画を定めることとしており、その際に詳細な検討をまいります。
113	運営管理	第17頁に、「しかしながら、コスト削減のためには、ホールは貸し館を中心に運営していかざるを得ず、結果として文化創造に向けた取組が不十分なものになるおそれがある」と記載されているが、第3頁に掲載した[想定される展開例]と大いに矛盾するのではないかと。施設整備（ハコ物建設）以前に検討すべき事項と考えるので、考え方・対応をお示し願います。	17ページの記述はPFI方式を採用した場合にそのような可能性があるという趣旨であり、そのため整備は直接発注を、運営管理は指定管理を想定しているという考えを示したものであります。
114	運営管理	施設の運営は、単純な貸しホールから積極的な文化発信まで様々であるが、どういった組織で運営するのか、全国の先行事例に学んではどうか。県内の文化施設の運営は、自治体職員が担うケースと指定管理者が運営するケースがある。自治体職員には人事異動があり、指定管理者は変更される可能性もある。 一方、いわき芸術文化交流館のように、熱意と愛情のある舞台芸術の「専門スタッフ」を置き、その知識と経験により、安全に配慮しつつ市民の興味・関心を引き出し、日々の文化活動をサポートする取組もある。（いわき芸術文化交流館ホームページより引用） 新たな文化施設の運営形態は「自治体職員による運営」「指定管理者による運営」「専門スタッフによる運営」のいずれになるのか、計画段階から検討すべきではないか。	指定管理による施設の運営を想定しておりますが、来年度整備計画を策定し事業が承認された後で、設計と並行し運営管理計画を定めることとしており、その際に詳細な検討をまいります。
115	運営管理	第7 運営管理の基本的な考え方で、運営管理の3つの形態を挙げ、「運営管理計画を策定する段階で、文化施設の運営に携わる者の選定作業も同時に進め」と記載している。書きぶりでは指定管理制度を前提としているとも解釈されるが、考え方は如何か。	ご指摘のとおり、指定管理制度を想定しており、整備方針に明記することとします。
116	運営管理	音楽プロデューサー経験者の採用・育成が望まれる。武士の商法では失敗するのが目に見えている。	整備が具体的になった際に、運営管理計画を定めますが、その際にご意見についても検討をまいります。
117	運営管理	音楽ホールに莫大なお金をかけるなら、ホールや機材の貸し出しだけでなく、自主企画でチケット収入を上げることも明記するべきである。	整備が具体的になった際に、運営管理計画を取りまとめることとしておりますが、その際、自主事業のあり方についても検討をまいります。
118	その他	本案ならびに千秋公園整備充実を図ることから、近接する学校施設移転を検討すべきと考える。（駅東地区へ）	ご意見にあった施設は、現に運営していることから、この件に関するコメントは差し控えさせていただきます。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
119	その他	大ホールを使用したイベントが4年間途絶えるのは問題です。代替施設がないから建替えるのではないのか。	4年間、大規模ホールを使用できないというデメリットの完全な解消は難しいものの、基本計画および整備方針（案）に記載したように、秋田市文化会館を中心とする既存施設を代替とし、調整を図っていきたいと考えております。
120	その他	棚上げになっている旧県立美術館の活用計画も明確にすべきであり、駐車場としての利用も検討すべきでないか。また、県立体育館の計画もあるようだが、各事業をトータルで提案してもらいたい。	旧県立美術館の利活用は、文化芸術ゾーンの形成を念頭に秋田市が検討することとしており、県立体育館については、この文化施設整備後の検討課題と認識しております。
121	その他	秋田市文化会館の解体を含めた利活用方法を明確に示して、市民の最終判断の材料にしてもらいたい。	市文化会館は、県・市連携文化施設の整備後には、文化施設としての役割を終えることから、解体が基本と考えております。
122	その他	整備方針は余りに観念的であり、基本平面計画等により、現在予定敷地での可能なボリュームを提示して具体性をもたせて議論の土壌を作るべきである。	来年度策定を予定している整備計画のなかで、具体的な施設配置案を検討することにしております。
123	その他	整備構想策定時のアドバイザーが、プロポーザルとはいえ、基本計画策定業務の受託者に選定されていることは不透明であり、このまま基本設計に関わるのは納得を得られない。本事業はCM方式により進められているのか。	基本計画策定事業の受託者は、公募型プロポーザル方式による厳正な審査の結果、選定したものであり、設計者の選定についても同様の手法を考えております。
124	その他	中心市街地活性化基本計画認定の事業要件に、階数が原則3階以上とされているが、新施設は該当するのか。	そのような認定要件はありません。
125	その他	前回のパブリックコメント(No.65, 76)でも意見があったように、舞台の専門家からの意見を汲み上げるようにしていただきたい。前回のパブリックコメントに応じた人は、今回においても意見が生きていると考えております。	整備構想、基本計画、整備方針と劇場設計の専門家のアドバイス等を受けながら取りまとめており、今後も多くの方々から幅広く意見を伺いながら整備計画を策定していきたいと考えております。
126	その他	「整備構想」ではプロモーター等インタビュー調査を実施し、31頁に結果を記載しているが、毎週のように市文化会館やジョイナスを利用している団体へもインタビュー調査が必要ではなかったか。加えて、これからを担う若者が、どのように利用するか調査も必要と思料する。	吹奏楽連盟をはじめ文化団体や文化活動に携わる若者のグループとの意見交換会を実施した上で、整備方針（案）を取りまとめており、今後も多くの方々から幅広く意見を伺いながら整備計画を策定していきたいと考えております。

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
127	その他	<p>公演前の舞台稽古等は、ホール利用統計に表れにくい。1,000人超収容のホールが文化会館だけとなった場合の、舞台稽古日程を組み込んだ年間利用のシミュレーションは実施したのか。</p> <p>一例に過ぎないが、過去には市文化会館で定期演奏会を開催していた秋田吹奏楽団が、お客様数が文化会館大ホールの定員を大きく越えたため、翌年より会場を県民会館に変更した経緯がある。このように文化会館大ホールの定員を大きく越えると想定される公演は、県民会館を利用できない4年間をどうすべきか代替案をお示し願いたい。</p>	<p>舞台稽古も現状の稼働率（60％）に含まれており、そういった実態も把握しながら検討しております。大規模ホールが存在しない間は、秋田市文化会館のみでは対応できないことから、県内他市の文化会館の利用が必要と考えております。</p> <p>1,200人を超えて収容しなければならない公演の場合には、例えば、県立武道館に仮設席を設けて実施するなどの対応をとっていただくことを想定しています。利用者には不便をおかけするもの、4年間という限定された期間だけであることから、ご理解いただきたいと考えております。</p>
128	その他	<p>現県民会館利用団体の相当数を吹奏楽が占めている。特に、中央地区吹奏楽祭・トップコンサート・吹奏楽コンクール中央地区大会・同県大会・優秀団体演奏会・アンサンブルコンテスト秋田県大会等々は、毎年定期的で開催している行事であり、これら全てを市文化会館で開催することは困難ではないか。県民会館を利用できない4年間について、秋田県吹奏楽連盟とは協議できているのか。</p>	<p>吹奏楽関係者等とも意見交換し、県民会館を利用できない4年間については、秋田市文化会館や県内他市の文化会館を利用していただくことを想定しております。</p>
129	その他	<p>整備方針案14頁には「当該地への建設では、4年程度、大規模ホールを使用できない期間が生ずるため、県、市と市文化会館による「秋田市文化会館利活用調整会議（仮称）」を設け、利用の調整を図ることで、文化団体等の施設利用者の理解を得る必要がある」という記載があるが、市文化会館大ホールは、芸術シーズンの土日には利用申込で飽和し、くじ引きにより利用団体を決定している現状である。調整会議設置以前に、両施設の実態調査をするべきではないか。</p>	<p>両施設の利用実態については調査しており、その上で、県内文化団体等が優先的に利用できるようにするため、「秋田市文化会館利活用調整会議（仮称）」を設け、調整することとしたところであります。</p>
130	その他	<p>これまで作成された「新たな文化施設に関する整備構想」（平成26年3月発行）や「新たな文化施設に関する基本計画」（平成27年3月）には、発行時期や検討委員会が明示されていた。今回の「施設整備方針」も発行時期や携わった関係者を明示すべきではないか。</p>	<p>このたびの整備方針案の取りまとめにあたっては、検討委員会を設けておりませんが、意見交換会の開催概要などは、別途ホームページ等で公開しております。策定月日は、明記します。</p>
131	その他	<p>平成26年度末に公開されたパブリックコメント一覧の「県・市の考え方・対応」には、一字一句まで同じ文面が随所に認められ、意見に対応できているのか疑問にも感じられる。一例として一覧No.10の意見は設計の基本中の基本であり、対応は「そのようになります。」とするのが妥当であった。今回の結果一覧では、内容に応じた踏み込んだ考え方を示すよう切望する。</p>	<p>整備方針でお示ししているのは、施設機能の基本的な考え方であり、来年度策定することとしている整備計画の中でより具体的な施設の内容を明らかにしたいと考えております。</p>

県民会館・市文化会館の建替による県・市連携文化施設整備方針（案）に係るパブリックコメント一覧

No.	区分	意見の概要	県・市の考え方・対応
132	その他	これまでの〔整備構想〕や〔基本計画〕は、建設場所を明示していなかったため、立地環境に関するパブリックコメントも曖昧であった。建設場所を明示して再度のパブリックコメントを求めたことは評価される。一方、前回のパブリックコメントにおいても貴重な意見があった。状況が変化しても、残すべき前回の意見を組織内で共有して、さらに、ホームページ等で県民に公開をお願いします。	そのように対応いたします。
133	その他	市中心部に防災のための無料飲料水製造施設を作ってもらいたい。	この施設に防災拠点的な機能を持たせられるか、今後検討してまいります。
134	その他	秋田ニューシティ跡地は、駐車場ではなく、県営アパート又はマンションにすれば、川反、通町方面の購買力を高めると思う。	現時点では、秋田ニューシティ跡地の駐車場としての活用を検討しておりますが、来年度策定する整備計画の中で、駐車場の確保について明らかにしてまいります。 なお、同地を県営アパート用地として活用する計画はありません。
135	その他	旧県立美術館の使い方について、様々な意見があるようだが、新施設と一体で考えていくべきだ。	旧県立美術館については、新文化施設に近いことから、相乗効果を図れるような利活用方法について市が検討することとしております。
136	その他	秋田市出身のステンドグラス作家として日本の第一人者 志田政人氏の作品を新施設への取り付けを提案する。	建物のデザインや装飾については、施設の整備が具体化した時点で、どのようにするか検討してまいります。
137	その他	県立体育館も老朽化が進んでいるので、建て替える場合は中央インター付近の新文化施設の近くに建設し、現在の県立体育館の敷地は、周辺スポーツ施設の駐車場にしたら良いと思う。	県・市連携文化施設については、現県民会館所在地に整備することが相応しいと考えておりますが、県立体育館の建替については、今後の検討課題であります。